システムの運用と管理

情報科学の世界II 2019年度 只木 進一(理工学部)

システムの日常的管理

- ▶システム構成の現状把握
 - ハードウェア、ソフトウェア、マニュア ル類
- →ログ管理
 - —利用状況、性能状況
 - ▶セキュリティ状況

システムの日常的管理利用者管理・資源管理

- →利用者管理
 - 利用者登録・削除
 - ▶権限付与
- 資源管理
 - ▶ファイル領域
 - ーメモリ、CPU割り当て

システムの障害と対策

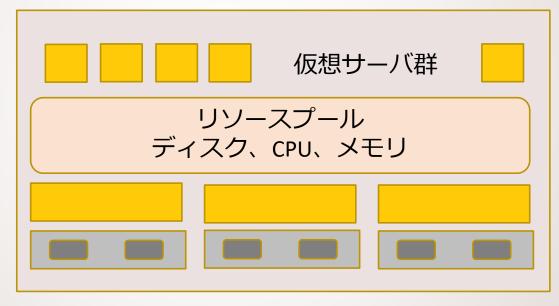
- −ソフトウェア障害
 - →仕様との不整合
 - ▶追加・変更が必要となる場合
- ■セキュリティ脆弱性
 - パッチ、設定見直し

システムの障害と対策

- 一ハードウェア障害
 - **→**ディスク
 - ネットワーク
 - ━電源
 - 一性能不足

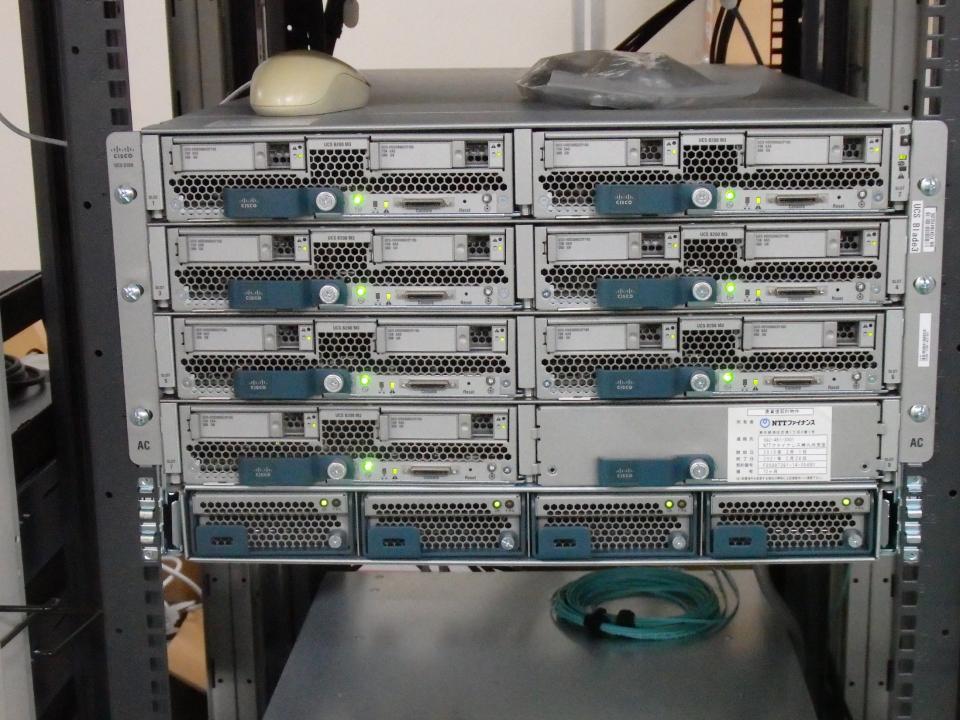
- 冗長化・多重化で対策

冗長化・多重化技術 サーバ仮想化



仮想化ミドル

ハードウェア



冗長化・多重化技術

- ディスク冗長化・多重化
 - ► RAID、ホットスワップ



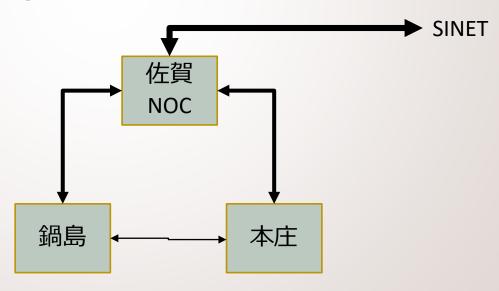
■電源多重化





冗長化・多重化技術 ネットワーク

- 経路を多重化する
 - ■単に多重化するとループが発生
 - ► spanning-treeプロトコル



運用保守コスト

- ─情報システムの運用保守コストは非常 に大きい
 - ▶継続的に更新が必要
 - ▶内部の人件費も非常に大きい
- ▶システムの計画・導入にあたって
 - →運用できるかの観点も非常に重要

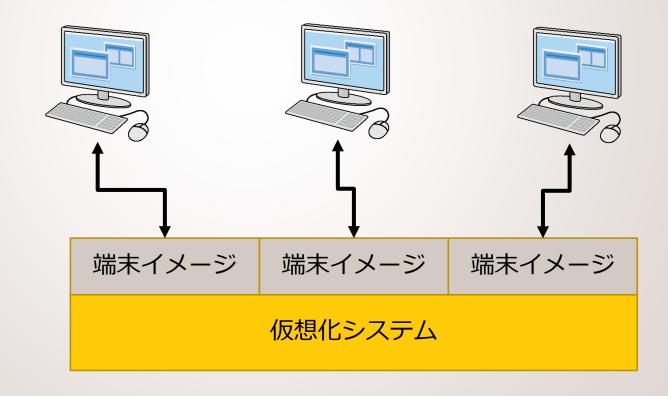
利用者管理技術

- 一端末認証
 - Active Directory : Windows
 - LDAP: UNIX, Linux, Mac
- **-** Webアプリケーション
 - SSO (Single Sign-On)
 - Shibboleth
 - OpenAM

端末管理技術 Thin Client

- 一端末にハードディスクを持たない
- → Network Boot方式
 - 起動イメージをネットワークを介して取得
 - 必要に応じて、ファイルサーバをマウント

━画面転送方式



クラウド活用 運用の観点から

- SaaS : Software as a Service
 - ソフトウェアを借りる
 - 0365、Salesforceなど
- PaaS: Platform as a Service
 - → OSやミドルウェアを借りる
 - Azure、レンタルサーバーなど
- laaS: Infrastructure as a Service
 - 仮想サーバを借りる

SaaS利用

- 構築、運用コストの大幅削減
- →自由度は低くなる
- **─**例: O365
 - -メール
 - スケジュール
 - ▶ファイル共有
 - → sharepoint サーバ

PaaS利用

- OSやミドルウェア更新コスト削減
- アプリケーションサービスに注力できる
- →例: さくらレンタルサーバ
 - ■Webサーバ+CMS
- ─例: AWS

IaaS利用

- 一ハードウェア保有コスト削減
- →ハードウェア故障対策、電源、空調のコスト削減
- ■例: さくらVPS
 - CPU、メモリ、ディスクを指定して借用
 - −自分でOSからインストール
- ■例: Microsoft Azure

データセンター

- ─機器を自組織に置かず、専用の施設に 預ける
 - ━電源、空調、入退室管理コスト削減
- 例
 - <u>►佐賀IDC</u>
 - Google